資料１

UDCBK 令和元（２０１９）年度事業実施状況等

Ⅰ. 令和元年度 UDCBK 事業

アーバンデザインセンターびわこ･くさつ（UDCBK）事業の運営方針の検討、運営状況の確認等を行うとともに、法人化の妥当性について助言をいただくことを目的に設置した。

【アーバンデザインセンターびわこ・くさつ事業運営懇話会委員】

区　分	氏　名	所　属･役　職
座　長	松原　豊彦	立命館大学食マネジメント学部教授（草津未来研究所所長）
副座長	北中　建道	草津市副市長
委　員	及川　清昭	立命館大学理工学部特命教授　･キャンパス計画室長 （アーバンデザインセンターびわこ･くさつセンター長）
	武田　史朗	立命館大学理工学部都市デザイン学科教授　･キャンパス計画室副室長 （アーバンデザインセンターびわこ･くさつ副センター長）
	肥塚　浩	立命館大学大学院経営管理研究科長（草津未来研究所顧問）
	田畑　泉	立命館大学 BKC 地域連携室長（スポーツ健康科学部教授）
	伊庭　健治	草津市まちづくり協議会連合会副会長
	堀江　尚子	市民公募（認定 NPO 法人くさつ未来プロジェクト代表）
	服部　忠満	パナソニック株式会社アプライアンス社 人事･総務センター総務部総務一課主務
	片岡　一明	株式会社滋賀銀行草津支店長（6/26 から）※1
	加藤　幹彦	草津商工会議所専務理事
	神部　純一	滋賀大学教育学部教授
	秦　憲志	滋賀県立大学地域共生センター主席調査研究員
	阪本　崇	京都橘大学副学長
	青木　均	草津市コミュニティ事業団常務理事
	松浦　昌宏	滋賀医科大学研究戦略推進室産学連携推進部門長 特任教授
	深尾　昌峰	龍谷大学政策学部教授 龍谷エクステンションセンター・センター長

※1　人事異動に伴い、肥田明久氏から変更

【アーバンデザインセンターびわこ･くさつ事業運営懇話会の開催】

	開　催　日	内　　　容
第1回	5月31日	･懇話会委員自己紹介 ･前年度の活動テーマと実績について ･今年度の活動テーマと予定について
第２回	10月10日	･今年度実施事業実績および計画について

第 3 回	2月19日	・令和元年度事業実施状況について ・令和 2 年度実施予定事業について

Ⅱ．令和元年度事業実施状況

1．事業プロジェクト

(1)都市デザイン連携プロジェクト

①南草津駅周辺の公園を中心としたまちづくり

（南草津プリムタウン）

プリムタウン1号公園づくりについては、今年度社会実験準備事業区分 A で「住民参加の新しい公園づくり」として募集し、提案のあった立命館大学に委託した。土地区画整理組合や担当部署、住宅メーカーなどの協力を得て、入居予定者など 45 名が参加したコミュニティ会議では、UDCBK から現地まで歩き、実際にプリムタウン1号公園でワークショップの開催をされ、地域の方と一緒にまちを育む出発点になった。

（まちライブラリー）2 回　合計参加者 33 人

南草津駅西口の東山道記念公園でのまちライブラリーを実施するにあたり、実際に会議から公園を活用し、まちなかの風景を感じ企画に取組んだ。夕涼み会当日は昨年度に引き続き雨となり UDCBK での開催となった。また、別の日には、ものづくり企画として、まちライブラリーで使用する本棚を、UDCBK 利用者と一緒に製作した。ものづくりを通じて、自然と会話が生まれオープンスペースに適したかたちになった。

	開催日	タイトル	参加人数（人）
1 ㊫㊯	7月27日	公園で、本を読みあって過ごしませんか？ “まちライブラリー”夕涼み企画	7
2 ㊫㊯	10月5日	みんなで一緒に、木で本棚をつくろう まちと人をつなげる本棚 “まちライブラリー”ものづくり企画	26

（立命館大学学生作品の展示）

立命館大学理工学部科目「建築都市デザイン演習」で南草津駅前東口周辺のデザインが取り上げられ、学生が各自のアイデアで作成した図面や模型を製作したことを受け、学生作品の一部を UDCBK に一定期間展示した。「このような駅前になればいい」など、利用者同士が話しながら見られており、好評であった。次年度も課題条件を変えて実施の予定。

	開催日	タイトル	参加人数（人）
1 ㊫	11月12日～22日	立命館大学理工学部 「建築都市デザイン演習」作品展示	－

②地域再生計画支援

20年後を見据え「食生活のイノベーションによる地域コミュニティづくり」で持続可能なまちづくりを提案する立命館大学食マネジメント学部の「食イノベーション研究会」と連携し、アーバンデザインセミナー「食とまちづくり」(3回シリーズ)を開講した。本セミナーには地域再生計

画対象地域住民の参加があり、住民本位のまちづくりに向けて貴重な経験を得た。今後、共同の取り組みを進める。

⑵都市と交通シナリオスタディプロジェクト（6 回開催）

本プロジェクトは、2040 年の南草津駅周辺の将来像を複数のシナリオとして描き、それらに基づく望ましい都市空間と交通のあり方について議論することで、将来の課題解決のためのアイデアを蓄積し整理するものである。令和 2（2020）年度以降に本格的に取り組むための準備作業として、立命館大学・滋賀県・草津市都市計画部・UDCBK 事務局で研究会を定期的に開催し、実施方法を検討した。

	開催日	内容
1 (学)(公)	7月17日	課題と進め方 シナリオプランニング手法の基礎理解
2 (学)(公)	8月21日	将来数十年の視点からみた課題とその集約 トレンドの抽出
3 (学)(公)	10月9日	課題整理による将来を決定する主な変数（ドライビングフォース）の抽出 海外の事例紹介
4 (学)(公)	12月20日	シナリオとバックヒストリー シナリオスタディ目的と意義・今後の進め方等
5 (学)(公)	2月6日	シナリオごとの課題解決策、シナリオにむけた課題 次年度の展開に向けた課題整理
6 (学)(公)	3月11日	次年度のプログラムとスケジュール

⑶大学生が住むまちプロジェクト

今年度は課題の整理を行うこととしており、当面作業を継続することとする。今年度については、大学における正課・課外活動の取り組みを市民に還元する取り組みを UDCBK を媒介として継続して実施し一定の成果があった。今後も継続して大学生の学びを支援しつつ還元する取組を行う。また、まち調べオープンプレゼンテーションでは、様々な立場の方学生の活動を見てもらい、一般参加者と意見交換する機会などを設けた。

	実施日	内容	主催者
1	11 月 12 日～22 日	デザイン演習作品展示	立命館大学理工学部
2	12 月 5 日	まちづくり最前線中間報告	立命館大学理工学部
3	1 月 7 日～31 日	ガストロノミー・スタディ・プロジェクト1（GSP）ポスター発表	立命館大学食マネジメント学部
4	1 月 16 日	まち調べオープンプレゼンテーション	立命館大学理工学部
5	1 月 18 日～28 日	学生主催の SDGs体験型イベント展示ポスター	立命館大学サスティナブルウィーク実行委員会
6	2 月 27 日	SDGs活動発表会	立命館大学サスティナブルウィーク実行委員会

2. 学習事業

(1)アーバンデザインスクール

〇前期テーマ『アーバンデザイン講座』(前 4 回合計参加者 99 人(内 3 回以上出席者 15 人))

アーバンデザインの考え方を、昨年出版された『アーバンデザイン講座』(彰国社)の著者と共に全5回シリーズで開催。台風のため最終回の「アーバンデザインセンター」が中止となったが、講師の御協力を得て別途開催する運びとなった。前期ではアーバンデザインの基礎を学び、後期の実践編に繋げた。

	開催日	内容	参加人数(人)
第 1 回 ㊫	6 月 12 日	タイトル:オープンスペースの設計 講演者:遠藤新氏(工学院大学建築学部教授)	37
第 2 回 ㊫	7 月 19 日	タイトル:地域資産を都市に活かす 講演者:野原卓氏(横浜国立大学大学院都市イノベーション研究院准教授)	29
第 3 回 ㊫	8 月 2 日	タイトル:都市と交通の接点をデザインする 講演者:黒瀬武史氏(九州大学大学院人間環境学研究院准教授)	18
第 4 回 ㊫	9 月 27 日	タイトル:スモールアーバニズム 講演者:阿部大輔氏(龍谷大学政策学部教授)	15
第 5 回 ㊫	10 月 12 日	タイトル:アーバンデザインセンター 講演者:前田英寿氏(芝浦工業大学建築学部教授) (台風接近のため中止)	−

コーディネーター:及川清昭氏 UDCBK センター長(立命館大学理工学部特命教授)

〇後期テーマ『小さな空間から都市をプランニングする』(第 4 回までの合計参加者 74 人)

学芸出版社から発行された同名の著書の著者たちとともに、小さな空間のつくり方からまちを変える都市計画の手法を具体的な事例を通じて学ぶ講座として開催。ワークショップでの問題提起をその後の掲示等で参加されていない利用者にも投げかけ意見を求めるようにし、日常から都市(まち)に興味を示してもらえるような仕掛けつくりに繋がった。また、出版社が周知してくださった成果もあり、初めて参加いただいた方が今までのスクールよりも多かった。

	開催日	内容	参加人数(人)
第 1 回 ㊫	11 月 20 日	タイトル:なぜ小さな空間から都市をプランニングするのか 講演者: 阿部大輔氏(龍谷大学政策学部教授) 武田重昭氏(大阪府立大学大学院生命環境科学研究科准教授)	23
第 2 回 ㊟㊋	12 月 20 日	タイトル:民有地をまちに還元する／余地でつむがれる地域の意図 講演者:白石将生氏(昭和株式会社関西技術室上席主任) 南愛(生駒市役所都市計画課)	19

		片桐新之介（合同会社 C.SSS コーポレーション代表）	
第 3 回 ㊫	1 月 10 日	タイトル：3㎡からはじめるまちづくり（戸田市＋京都市伏見区） 講演者：吉田哲氏（京都大学大学院工学研究科建築学専攻准教授）	21
第 4 回 ㊫	2 月 7 日	タイトル：永続性を前提としない／建物とその先の時間も引き受ける （神戸市＋善光寺門前） 講演者：佐久間康富氏（和歌山大学システム工学部准教授） 穂苅耕介氏（豊橋技術大学特任助教）	11
第 5 回 ㊫	2 月 28 日	タイトル：小さな空間と大きな都市の関係をとらえる 講演者：阿部大輔氏（龍谷大学政策学部教授） 武田重昭氏（大阪府立大学大学院生命環境科学研究科准教授）	—

コーディネーター：武田史朗氏（立命館大学理工学部都市デザイン学科教授／UDCBK

【特別講義】㊫

開 催 日	内　　容	参加人数（人）
2 月 29 日	タイトル：アーバンデザインセンター 講演者：前田英寿氏（芝浦工業大学建築学部教授）	—

コーディネーター：及川清昭氏　UDCBK センター長(立命館大学理工学部特命教授)

⑵アーバンデザインセミナー

全 11 回企画、10 回分終了までの合計参加者 147 人

今年度は、地域再生計画の対象地域で進めている「食のソーシャルイノベーション研究会」の食を起点としたまちづくり研究と連携した取組みから、3 回シリーズでの SDGsも絡めたセミナーを実施した。また、昨年度のアーバンデザインスクール参加者や、成果物をみた利用者からの提案セミナーも実施するなど、アーバンデザインセンターの今までの取組が繋がる事例にもなった。

	開 催 日	内　　容	参加人数（人）
第 1 回 ㊫	6 月 29 日	テーマ：スウェーデンに学ぶ　豊かなまちの使い方 ～草津をもっと豊かに使ってみよう！ 講師：村田明子氏（立命館大学理工学部研究員）	17
第 2 回 ㊫	7 月 26 日 ※1	テーマ：食生活の未来と持続可能なまちづくり 講師：田中浩子氏（立命館大学食マネジメント学部教授）	20
第 3 回 ㊫	8 月 21 日	テーマ：食の風景から考えるまちづくり 講師：百武ひろ子氏（県立広島大学大学院経営管理研究科教授）	20
第 4 回 ㊫	9 月 13 日	テーマ：SDGsから考える食と農とまちづくり 講師：吉川成美氏（県立広島大学大学院経営管理研究科准教授）	16
第 5 回	8 月 22 日	テーマ：草津宿本陣・東海道の「いま」と「これから」～VR の事	15

㊫㊬		例を通してまちを考えるワークショップ コーディネーター：松田游也氏（立命館大学大学院理工学研究科修士１回生）	
第６回 ㊫㊮	９月20日	テーマ：草津おみやげラボコラボセミナー　草津いいもの探しツアーを考えよう！～「歩いて巡りたくなる地域のアイデア」をバス+徒歩で実現可能に 講師：藤井健史氏（立命館大学理工学部建築都市デザイン学科助教） コーディネーター：大塚佐緒里氏（草津おみやげラボ所長）	21
第７回 ㊮㊫	10月19日	テーマ：「超珍」シビックプライドを育てるガイドのいないまちあるき 講師：山本あつし氏（事業プロデューサー、大阪芸術大学講師）	5
第８回 ㊮㊦	11月16日	テーマ：まちカフェを試してみよう！つながる場からまちが動き出す 講師：石﨑立矢氏（上京朝カフェ主催者、京都新聞社南部支社編集部長）	8
第９回 ㊮㊫	12月7日	テーマ：発起人は大学生！くさつ Farmers'Market に迫る 講師：内田修次氏（くさつ Farmers'Market、立命館大学スポーツ健康科学部4回生）	4
第10回 ㊦㊫	2月14日 ※2	テーマ：健幸都市とコオーディネーション能力 講師：大橋知佳氏（㈱東大阪スタジアム、立命館大学大学院スポーツ健康科学研究科博士課程前期課程1回生）	21
第11回 ㊮㊬	3月13日	テーマ：（仮）情報発信とまちづくり 講師：南部敏之氏（くさつファン☆プロ）	―

※1　第２回から第４回までは「食とまちづくり」の全３回のシリーズ
※2　第10回は、立命館大学科学技術振興機構センターオブイノベーション（COI）プログラム（Active for All 拠点）で共催事業。令和２(2020)年４月に東山道記念公園の活性化策に繋げる予定。

３．社会実験準備事業等

今年度は、UDCBK の事業プロジェクトに基づくＡ型、「健幸都市」に関わったテーマに基づくＢ型に分けて、包括協定締結大学（立命館大学、滋賀大学、成安造形大学、京都橘大学、滋賀県立大学、滋賀医科大学、龍谷大学）に募集。結果、Ａ型は立命館大学から１件、Ｂ型は立命館大学大学から４件(うち１件辞退)、合計５件の応募があり４件委託契約した。（詳細は別紙③参照）委託期間は令和２年２月28日までであり、２月26日に成果報告会をUDCBKで実施し、地域へ還元する。今年度は昨年度よりの早い時期に提案募集をかけたものの、提案いただく大学が少なかったので、事業案提示時期についてはより早い時期に提案できるよう考える。

区分	内容	委託金総額	1件あたり上限額
A	都市デザイン連携プロジェクトとして設定するもの	50万円	30万円
B	上記によらない個別テーマに基づくもの	50万円	20万円

【草津市社会実験準備事業等一覧】

区分A　（上限30万円）　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　単位：円

募集テーマ	応募事業名	応募大学	代表者名	事業責任者名	事業費総額	審査決定金額
住民参加の新しい公園づくり	住民参加の新しい公園づくり－南草津プリムタウンの公園中心型コミュニティデザインを目指すための社会調査・実験	立命館大学	金　度源	金　度源	300,000	300,000

区分B　（上限20万円）　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　単位：円

募集テーマ	応募事業名	応募大学	代表者名	事業責任者名	事業費総額	審査決定金額
歩いて暮らせるまちづくり	自転車利用を促す駐輪場や道路などの公共空間のデザイン	立命館大学	中谷　吉彦	岸本　俊輝	199,936	100,000
安全・安心に配慮した公共空間の整備	南草津駅前ロータリーの混雑状況調査とそれに基づく改善方策の検討	立命館大学	塩見　康博	塩見　康博	200,000	200,000
楽しく歩ける路面標示のデザイン	「くさつ歴史健幸散策」のための路面標示デザインの提案－草津の歴史に思いをはせる歩行者ネットワークの形成に向けてー」	立命館大学	藤井　健史	藤井　健史	200,000	200,000

区分 A:1件㊫　区分 B:3件㊫

【今回の審査における課題】

今年度は募集区分設定、募集開始時期の早期化など改善を図り募集を行った。結果は上記のとおりであり、応募件数が増加したものの1大学のみの応募であったこと等から次年度に向けて、募集方法、時期、申請および採択件数、審査方法等について改善を図る。

【成果報告会】

日時:令和 2 年 2 月 26 日(水)17 時～19 時 30 分

場所：UDCBK

4. オープンスペース利用状況

オープンスペースは、市民の居場所の少ない南草津駅周辺に必要なパブリックスペースのモデルとして運用する目的で、UDCBK 開室時間帯に、個人・団体に自由に使っていただくスペースとして開放している。

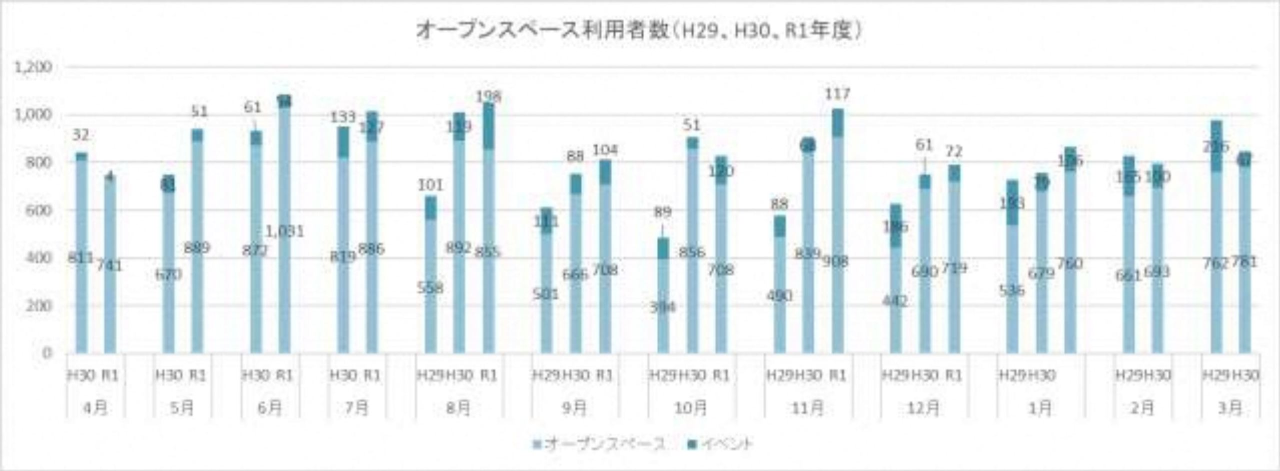
今年度、オープンスペースを利用し、光泉高校やまちづくり協議会との共催イベントや、草津市国際交流協会との定例イベントを実施した。光泉高校との共催イベントは、市職員が「地域活性化」の授業を行い、その後生徒が UDCBK に国際交流関係者を紹介してほしいと訪れ、草津市国際交流協会の会員と繋がりと段階を踏んで、成果発表を UDCBK で実施する事につながったものである。個人利用や交流等では、英会話をテーマに高校生と英語教員、大学生、地域住民が繋がったり、市の他部署のイベントで UDCBK を利用された方が、個人の活動で利用されたり、まちの魅力を高める市民活動場に利用されたりと、様々な利用がなされている。「みなくさまつり」では初めてビブリオバトル（午後の部）の会場として提供し幅広い市民が来場した。

また、UDCBK を初めて利用される方やイベント時以外に、ビブリオバトル開催時や期間限定で利用者全員にアンケート調査を実施した。この内容は分析を進め今後の運営等に反映さ

せることとしたい。

そのほか、オープンスペースの大型プロジェクターの利用に関しては、草津市議会定例会の中継の放映や草津市青少年美術展覧会の作品放映等の様々な情報発信を行い、いろんな分野に関心を持ってもらえる機会をつくった。

平成31(2019)年4月～令和2(2020)年1月
　オープンスペース利用者　8,279 人(昨年度同期間 7,794 人)
　イベント参加者　907 人(昨年度同期間 773 人)
　1 日平均 48.11 人(昨年度同期間 42.41 人)



【共催イベント】

産学公民連携の一環で下表の事業を実施した。

	開催日	タイトル	共催者	人数(人)
1	5 月 11 日 (学)	高校生の考える「地域活性化・地域貢献」	光泉高校	48
2	8月21日～9月4日 (民)	クイズ玉川@南草津	遺跡と萩の育む玉川まちづくり推進会議	39
3	1月30日 (学)	高校生が考える SDG s 成果発表	光泉高校	23

【やさしい日本語サロン特別セミナー】

アーバンデザインセンターびわこ・くさつ(UDCBK)のオープンスペースを利用して、「やさしい　にほんご　さろん」を定期的に実施する。

「やさしい　にほんご　さろん」とは、外国にルーツを持つ人と日本人がやさしい日本語で交流を深めつつ、草津のまちづくりについて考えるきっかけを提供することを目的に、毎週火曜日の午前 10 時から正午までと毎月第 3 金曜日の午後 6 時から午後 8 時まで開設している。また、これまでに特別企画として下表の事業を実施した。

	開催日	タイトル	内　容	人数（人）
1	5 月 17 日 ㊟	多言語カフェ～インドを もっと知ろう～	インドの食べ物や伝統衣装を通じて、3 人のインド人とやさしい日本語で交流	28
2	6月21日 ㊟	若者たちの地域貢献の輪～ ローターアクトから世界へ 飛び立とう～	まちの活性化を、社会奉仕・国際奉仕・専門知識開発などローターアクトクラブの活動内容から学ぶ	36

【オープンスペース利用の一例】

利用日	内容	主催者	人数（人）
5 月 10 日	Farmers' Market コミュニティ交流会	学生主体団体	約 20
5 月 24 日	ミステリースカイプを使った多文化交流勉強会	市民団体・高校生	約 30
6 月 11 日～ 7 月 4 日	教科書展示	市	―
6 月 22 日	ボードゲームを通した地域を知る交流会	市民団体	21
6 月 28 日	みなくさまつり実行委員会会議	みなくさまつり実行委員会	約 20
7 月 9 日	草津市長と TALK★CAFE	市民団体・市	35
7 月 19 日	草津市総合計画策定ワーキンググループ	市	32
8 月 1 日	SPARK☆ジョブ CAFE	市	延べ 116
8 月 30 日	まちづくりプラン策定合同ワークショップ	市	25
9 月 4 日	SDGs防災マップ発表会	学生団体	52
10 月 8 日	子育て安心のまちプロジェクト（写真展、意見交流）	市民団体・市	18
11 月 8 日	看板検討	まちづくり協議会	7
11 月 16 日	クリスマスブーツ作り	市民団体	31
11 月 17 日	みなくさまつり（ビブリオバトル）	みなくさまつり実行委員会	32
2 月 27 日～ 3 月 6 日	人権作品展示	市	―
3 月 4 日	一般廃棄物処理基本計画ワークショップ	市	―

5. 情報発信

開設から3年あまりが経過し少しずつ UDCBK の存在を知ってきてもらえているが、情報発信の方法や内容を工夫した。まず、市のホームページのトップページにUDCBK 専用のバナーを張り付け、UDCBK のホームページをリニューアルした。次に、フェイスブックの内容も UDCBK の活動や草津市のまちの様子が見えるようにし、週2回以上の情報発信に取り組んだ（今年度実績：1 月末日現在で 98 回発信(イベント告知、シェア除く)）。また、全国の UDC を紹介する、UDC イニシアチブのホームページ （https://udc-initiative.com）内の UDCBK の紹介ページについても内容を更新した。

6. 法人化検討

今年度の事業を進めながら、法人化ワーキングで整理したメリット・デメリットに事業を当てはめ組織形態など精査を実施。他の UDC との情報交換し、組織形態や事業内容を参考にしながら引き続き検討していく。

7. 視察受入

今年度はこれまでに13 団体(予定含む)の視察を受け入れ、UDCBK について説明を行った。中には、他の UDC と関りをもたれている所もあり情報交換の場にもなった。

	受け入れ日	視 察 団 体	都道府県	人数(人)
1	4 月 24 日	愛荘町まちづくり協働課	滋賀県	4
2	5 月 8 日	一般財団法人地域活性化センター	東京都	2
3	7 月 3 日	国家公務員初任行政研修	東京都	3
4	8 月 27 日	滋賀県企画調整課	滋賀県	4
5	9 月 12 日	高穂地域包括支援センター	滋賀県	5
6	9 月 27 日	草津市議初当選議員研修会	滋賀県	11
7	11 月 15 日	近江八幡市企画調整課	滋賀県	3
8	11 月 27 日	公益財団法人日本都市センター 栃木県宇都宮市市政研究センター	東京都 栃木県	2
9	12 月 14 日	大阪いずみ市民生活協同組合	大阪府	3
10	12 月 19 日	豊中市経営部とよなか都市創造研究所	大阪府	1
11	1 月 28 日	岡谷市議会	長野県	5
12	1 月 29 日	長野県議会	長野県	4
13	2 月 20 日	本巣市議会	岐阜県	—

8. その他

(1)UDCBK スタッフ定例会議

毎月 1 回 UDCBK スタッフ定例会議を行い、企画・運営協議やアーバンデザインセンターの役割についての勉強会を実施した。

【メンバー】

	役 職	所 属	氏 名
1	UDCBK センター長	立命館大学理工学部特命教授	及川 清昭
2	UDCBK 副センター長	立命館大学理工学部教授	武田 史朗
3	草津未来研究所副所長	草津市総合政策部理事	木村 博
4	草津市産学公民連携調整員	草津市草津未来研究所産学公民連携調整員	本村 廣司

5	事務スタッフ	草津市総合政策部 草津未来研究所参事	中瀬　明美
6	事務スタッフ	草津市総合政策部 草津未来研究所専門員	坂居　雅史
7	事務スタッフ	草津市総合政策部 草津未来研究所嘱託職員	田村　祥代

【実績】

回数	開催日	内　容
1	4 月 3 日	・アーバンデザインスクール（前期） ・社会実験　など
2	5 月 10 日	・アーバンデザインスクール（前期） ・平成 31 年度事業方針（案）　など
3	6 月 12 日	・社会実験準備事業 ・UDCBK 事業運営懇話会意見　など
4	7 月 3 日	・アーバンデザインセミナー ・社会実験準備事業　など
5	8 月 2 日	・アーバンデザインスクール（後期） ・社会実験準備事業　など
6	9 月 11 日	・UDCBK 事業運営懇話会について ・HP の更新　など
7	10 月 16 日	・UDCBK 事業運営懇話会報告 ・アーバンデザインスクール（後期）など
8	11 月 13 日	・アーバンデザインセミナー ・都市模型委託など
9	12 月 18 日	・アーバンデザインセミナー ・令和2年度社会実験準備事業など
10	1 月 30 日	・UDCBK 事業運営懇話会議題検討 ・令和2年度社会実験準備事業案など

(2) UDC 会議

令和元(2019)年 9 月 28 日、UDCイニシアチブに加入するアーバンデザインセンターが全国から集い情報交換を行う「第 7 回アーバンデザインセンター会議 in さいたま　大宮／美園」が埼玉県で開催され、フォーラムの中で、「UDC と公共セクター」をテーマにしたパネルディスカッションにUDCBKはパネラーとして議論に参加した。他の UDC との交流を図り、実際の活動に参加し、日常の関係を深めより良い情報交流ができた。

(3) 関係者との交流・勉強会

UDCBK は産官学民の交流によるまちづくり活動のプラットフォームとしての役割がある。今年度の取組として、滋賀銀行-立命館大学-草津市の三者協定に基づく定例会議がオープンスペースを利用して開催され UDCBK スタッフも参加している。また、パナソニック内に開設されている松下

商学院のプログラムが UDCBK を活用して実施されたり、草津商工会議所青年部主催の三方よしサミットで UDCBK をテーマに産学公民連携についての情報交換がなされた。従来から課題と認識している産との連携について次年度に向けて意識的に取り組むこととしたい。